

神奈川県

横浜国立大学 ～横浜発、農業がつくる学生と地域の架け橋－ Agridge Project～

● 農業×学生力プロジェクトの発足

- ・ 学生自身が農業が抱える課題に関心を持ち、地域から持続可能な農業と新たなビジネスを考えたのがきっかけ。
- ・ 2017年、「農業による地域活性化」を組織の理念に掲げ、学生公募型プロジェクトとして採択・発足。

<見逃せないポイント－大学独自の仕組み－>

- ・ 学生公募型プロジェクトは、教育課程の一環として、全学部、全学年から参加でき、単位取得が可能。
- ・ 大学による活動費の支援があるほか、年度末には関係者に向け、成果発表のシンポジウムを開催。

● Agridge Project の組織を担う 4 つの部門

- ・ Agrink部門：地元の農家さんに教わりながら、農業を実践し、学生・都市住民と農業をつなぐ活動を行う。
- ・ Agreeting部門：農と食を通じて人と人とのつながりを生むため、自主企画や小学校への訪問授業などを行う。
- ・ 和田べん部門：地元のお弁当屋さんと協力し、Agridge野菜を使った新メニューの考案・販売などを行う。
- ・ 商品開発部門：Agridge野菜や地域の作物を活用し、学生・地域・企業の三者協働による商品企画を行う。

この一株から動き出す!! 畑から始まる、学びと地域活性化



Agridge野菜で、皆がつくる・食べる・つながる料理企画



● Agridge Projectの運営

- ・メンバーは、4つの部門の中から希望する部門を選び、自身の専門分野を生かしながら活動。
- ・農場作業は、平日朝に週3回の収穫・点検を行い、月1回程度、土日に関心の方を招いて作業を実施。
- ・新入生を中心とした食育やイベント運営を実践する自主企画を年に2回ほど実施。

● 活動の成果

- ・市内の若手オーナー経営のスイーツ店と地産地消スイーツを共同開発して、地産地消サポート店認定に寄与。
- ・農や食を通じ、交流を生み出す姿勢が評価され、（一社）全国農協観光協会と親子農育ツアーを検討中。

● 今後の展望

今年度、新たに「農業の活性化」を活動の柱に加えて農業談話の場を展開している。今後も開催して農や食を深く考え、農業の関係人口を増やし、地域と強く連帯したい。

● 詳しい情報（Instagram、ホームページ）

最新の活動をアップしていますので、チェックしてみてください！

[Agridgeプロジェクト HP](#)



★ 概要 ★

開始・組織設立：2017年 活動分野：農業活動、食育の実践、地域との共創、商品開発
メンバー：32人 問い合わせ先：face.kmmy@gmail.com

Agridge野菜が入っているお弁当は、この緑のシールが目印



横国スイーツ革命！トマト×バジルの新感覚ケーキ誕生

